

2016年  
東和中学校がめざすこと

2016. 4. 11  
1学期 始業式  
学校長 東方美喜夫

平成28年度 生徒数・学級数

- 1年生 131人 4学級
- 2年生 105人 3学級
- 3年生 109人 4学級
- 特別支援学級6人 3学級
- 生徒 351人 教職員 34人

学校教育目標

- 人権尊重の精神を全教育活動の基盤とした心豊かな人間性と確かな学力、たくましく生きる力を持った生徒の育成

教育目標達成のための具体的な5つの努力点

- 「早寝・早起き・朝ごはん」といった生活のリズムを身につけた生徒の育成
- 家庭での学習習慣をきちんと身につけた生徒の育成
- 人権意識が高く、思いやりの心が厚く、自分や仲間を大切にでき、決まりを守る生徒の育成
- 「朝の読書活動」等の充実
- 生徒が主体的に学ぶ授業をめざした「学び合いの授業づくり」の推進

朝の読書の風景(読み浸る時間)



読書活動について

- 本の中から新しい発見や発想が生まれる。
- 知識が増える。
- 想像力が鍛えられる。
- 物事をいろんな角度から見ることができる。
- 相手を思いやる心も育つ。
- 「真の学ぶ力」を身につけることができる。
- 本は文字ではない。本は人である。本の向こうに人の知恵がある。空間を越え、時間を越えいろんな人に出会うことができる。
- 本を通して人の知恵をステップにして、大きくジャンプできる。

学校行事・授業等を通して「生きる力」の育成

- 自ら考え、判断し、主体的に行動し、表現することにより様々な問題に積極的に対応し、解決する力など確かな学力の育成
- 自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性の育成
- たくましく生きるために必要な健康や体力の育成

7

校外学習 1年生(みなべ町 ほんまもん体験)

8

校外学習 2年生  
(USJ 職場体験に向けて 職業アンケート)

9

校外学習 3年生(飛鳥サイクリング班活動)

10

体育的行事 東和中スマイルカップ  
inビッグホエール ブロック対抗戦

11

3年生 宿泊研修(修学旅行)  
10月19日～21日

12

### 2年生 職場体験学習

34事業所 10月19日～21日



13

### 1年生 自然体験学習(飯ごう炊さん・カッター体験)

10月20日 大阪府立海洋センター



14

### 生徒会役員選挙 執行部誕生



15

### 生徒会執行部 チューリップ




16

### 文化的行事 -11月21日

(展示発表・合唱コンクール・公民館活動展示)

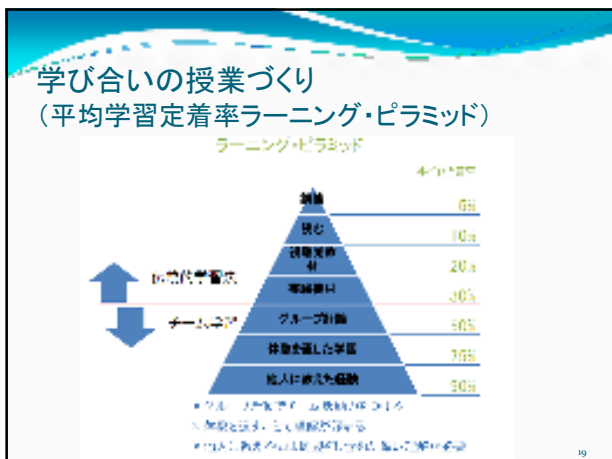


### 職場体験学習発表会(2016.1.18)



- 職場体験学習の発表会
- 2年、発表力あり!
- 1年、聴く態度良し!
- 2年生が1年生に「職場体験学習」の取組の発表会を「壁新聞」と「PowerPoint」を使って行いました
- 2年生の発表を通して、社会の仕組みを肌で感じた充実した3日間であったことがわかりました。

18



- ### 「学び合いの意味」を理解する
- グループやペアで人に教えることで自分の理解が深まります。
  - 相手と話すことで違う考えに触れることができます。新しい発見があります。
  - 社会に出ればチームで仕事をします。その時に必ず教えたり教わったりする場面があります。「学び合い」を進めることで、その土台となる力が付きます。

- ### 和歌山市中学校における「学び合いの授業づくり」の研究推進校
- 知識の記憶を中心とした教師主導の一斉的な指導から、グループ学習等を取り入れ主体的・協働的なアクティブ・ラーニングへの転換
  - 授業の中で「聴き合える関係」を作る
  - 学びのルールの徹底

- ### 「学びの共同体」のビジョン
- すべての子どもの学ぶ権利を保障する
  - すべての子どもが一人残らず学びに参加させる
  - 教師全員が互いに学び合い、教育の専門家として成長する
  - どの生徒も一人にしない...子ども同士がつながる
  - どの教師も一人にしない...先生同士がつながる



研究授業 1年生 家庭科



25

きのくに学力定着フォローアップ事業  
(3年 数学 研究授業)



一斉学習とグループ学習の切り替え


26

学び合いの授業づくり 09/11 2年英語



27

きのくに学力定着フォローアップ事業(アドバイザー来校)10/29 2年社会



- 4人1組グループによる学び合い(聴き合う関係)
- 共有の課題
- ジャンプの課題
- 机の隙間を詰めて
- 教員も学ぶ

28

中学校における「学び合いの授業づくり」  
研究授業 2016.2.9 1年社会



29

中学校における「学び合いの授業づくり」  
研究授業 2016.2.9 2年社会



30

## 中学校における「学び合いの授業づくり」 研究授業 2016.2.9 1年体育



31

## 主体的な「学び」とは

- 人間は、教えられることになった途端に考えることを捨てる。
- 教える人が考えてくれる。だから教えられる人は考えなくてもいいんだと思ってしまう。
- 勉強ということになった途端に、私たちは「教えられたことをおぼえる」ことに注意がむき、「考えない」ことにスイッチが入ってしまう。

(佐伯胖)

32

## 学習4つの原則

- 授業を大切に
- 忘れ物をしない
- 復習は毎日必ず
- 宿題はコツコツといねいに
- 「わかる」から「できる」へ

33

## 授業5つの鉄則

- 授業準備は完璧に
- チャイム着席は厳守
- あいさつは姿勢を正して元気よく
- 聴く・考える・話し合うにメリハリを
- 発表・発言は大きな声と文章で

34

## 協同的な学びのルール

- 全員がより確かな力をつけるために4人構成のグループ学習を入れる。
- グループになったら私語はしない。
- 机はしっかりくっつけて隙間をつくらない。
- 最初、一人で考えることがもつとも力がつく。
- 分からない時はグループの人に「ここどうするの?」と訊く。
- 訊かれたら相談に乗ること。話す時は、声のトーンを下げる。
- 立ち歩かない。
- 訊かれていないのに教えることは、その子の学びの邪魔をすることになる

35

## 国としての教育改革の流れ

- 文部科学省 学習指導要領の改訂にむけて(中央教育審議会に諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」H26.11)
- 「何を教えるか」から「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視
- 学びの成果として「どのような力が身に付いたか」という視点が重要
- 「アクティブ・ラーニング」(課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習)という「学び方」そのものを、学習指導要領に盛り込むよう明記

36

### 高・大接続の一体的改革

- 教育の質の確保・向上を図り、生徒の学習改善に役立てるため「高等学校基礎学力テスト」を導入
- 大学入試センター試験を廃止し、知識の活用力を測る「大学入学希望者学力評価テスト」
- 各大学も小論文や面接に力点を置いた入試に改革
- 平成32年(今の中1が高3のとき)に導入
- 「何を教えるか」ではなく「どのような力を身に付けるか」の観点に立って高等学校の学習指導要領の抜本的見直し
- 高校では、そうした力を確実に育むため、アクティブ・ラーニングへの飛躍的充実を図る

37



### 新共通テスト 「大学入学希望者学力評価テスト」

- 2020年度 導入(今の中1が高3の時)
- マークシートではなく、記述式問題が出題される
- 専門家会議委員の声「高校教育が変わる」
- 「考え方の違いを理解して意見を述べたり、長い文章を書いたりするトレーニングが必要になる。学校でアクティブ・ラーニング(課題解決型学習)型の能動的な授業を多く取り入れれば、能力はつけられる。」(毎日新聞 河合塾教育研究開発本部副本部長)

39

### 部活動!!

もの 教育課程に関連する 部活動

このスライドは、様々な部活動の写真を掲載しています。サッカー部、バスケットボール部、ソフトテニス部、吹奏楽部、美術部、茶道部など、多岐にわたる活動が紹介されています。右側のテキスト「もの 教育課程に関連する 部活動」は、部活動が学習の場として重要な役割を果たしていることを示唆しています。

40

### 東和中学校がめざすこと

- 生徒達が学び合う学校
- 誰もが安心して学べる学校
- 教師も教育の専門家として学び育ち合う学校
- 保護者や地域の方々も学校に協力・参加していただき学び育ち合う学校

41